

・肯定的評価…A：よくあてはまる B：おおむねあてはまる☒
・否定的評価…C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない

・増減…1学期実施したアンケート結果と比較した増減		（％）	
Ⅰ．生活面について		肯定的評価	
	質 問 項 目	2学期	増減
1	お子さんは、学校生活を楽しく過ごせている。	69	-21
2	お子さんは、毎日、歯磨きをしている。	94	-6
3	お子さんは、「早寝、早起き、朝ご飯」（生活リズム）が身についている。	81	13
4	お子さんは、公（おおよけ）の場に適した会話や行動ができている。	94	-6
5	お子さんは、メディア（ケータイ、スマホ、ゲーム、テレビなど）は家庭で約束を決めて時間をコントロールできている。	44	7
6	お子さんは、周りに流されることがなく、自分が正しいと思った言動を行うことができる。	69	-5
7	お子さんは、困りごとや悩みごとを相談できる友達がいる。	63	-17
8	先生方は、悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり助言したりしてくれる。	69	6
9	先生方は、生徒をよく見てくれている。	75	-4
10	先生方は、子どものよいところを認めたり、ほめたりしてくれる。	75	-15
11	私は、お子さんと、学校であったことをよく話す。	88	3
12	私は、お子さんの学校の事（学習・進路、生活・友達）について、よく相談にのっている。	88	14
13	私は、お子さんのよいところを認めたり、ほめたりしている。	81	-14

・保護者の約70％、教職員は100％が、生徒は学校生活を楽しく過ごしていると肯定的な回答をしている。保護者については、1学期に比べて約21％低い結果となっている。保護者と教職員との間で、受け止め方にかなり違いが見られるので、もう少し丁寧な見取りをしていきたい。

・家庭での歯磨きは、約94％出来ていると回答をしているが、学校での給食後の歯磨きは、約57％の生徒しか取り組めていない現状がある。学校歯科医の講演会やその後の呼びかけ等は毎年行っているが、歯磨きへの意識が低いようである。更に、保健委員会等と連携した呼びかけや取り組みを行っていきたい。

・公的な場で適切な言動がとれているかには、保護者は約94％、教職員は100％が肯定的な回答をしており、公私の区別をつけた言動がとれるようになってきている。今後は更に、公的な場での適切な言動等について事ある毎に話をしていきたい。

・メディアの使い方については、教職員では約43％、保護者では約56％が課題意識をもっておられるので、学校と家庭が連携をして正しい使い方について指導していくことが必要である。家庭でのルール決め等の呼びかけも行っていきたい。

・周りに流されることがなく自分が正しいと思った言動をとることができることについては、保護者は約69％、教職員は約43％が肯定的な回答をしており、特に、教職員は1学期に比べると約24％も低くなっている。両者とも課題意識があり、自分自身の考えや気持ちなどをしっかりと持つことの大切さを伝えるともに、善悪の判断と勇気を持った行動がとれるように指導していきたい。

・困りごとや悩み事を相談できる友だちがいるかは、保護者は79％、教職員は約67％が肯定的な回答をしているが、普段から関わり合う力の育成や相談にのれるような関係づくりに取り組む必要がある。

・委員会や係では、自分の仕事に責任を持ってやりきっているという肯定的な回答をした教職員は約89％で、昨年度より11％低くなっている。また、掃除への取り組みには多少課題もみられ、丁寧な清掃指導を行ってきたい。

・悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり助言をしていると肯定的な回答をした教職員は約86％と1学期より約19％上がったものの、保護者の肯定的な回答は約63％と1学期より約17％低くなっている。また、生徒のことをよく見てくれているかという質問に対しても、保護者の肯定的な回答は約75％で、生徒のことをよく理解し適切な対応に心がけていきたい。

・先生方は、生徒のよいところを認めたり、ほめたりしているという肯定的な回答をした保護者は約75％、教職員は100％とかなり差が見られる。また、お子さんのよいところを認めたり、ほめたりしている保護者は約81％おられるが、1学期と比べると約14％も低くなっている。また、本校は自尊感情や自己肯定感が低い生徒も多く、家庭とも協力をしながら、ほめたりよいところを認めたりすることで成功体験を積み重ね、自尊感情や自己肯定感を高めていきたい。

・お子さんと学校であったことをよく話す肯定的な回答をされた保護者は約88％、お子さんの学校のことについてよく相談にのっている肯定的な回答をされた保護者は約88％と、家庭での親子のコミュニケーションもある程度良好である。また、悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり、助言したりしている肯定的に回答した教職員も約86％おり、今後も生徒に寄り添った対応に心がけていきたい。

Ⅱ．学び続ける力について

1	お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。	44	-9
2	お子さんは、宿題等、提出物の期限を守っている。	56	-23
3	お子さんは、宿題・予習・復習・テスト勉強など、毎日家庭学習に取り組んでいる。	56	4
4	お子さんは、わからないところを人に聞いたり、復習したりして、解決している。	56	4
5	先生方は、わかる授業づくりや、勉強の仕方のアドバイスをしてくれている。	56	-2
6	先生方は、学ぶ楽しさ（新たな事がわかったり、できたり）を体験させてくれている。	44	-4
7	お子さんは、目標に向け、自分の学力を伸ばそうと自ら努力を続けている。	44	-9
8	お子さんは、勉強や部活などで、難しいことも最後まであきらめず取り組みとしている。	75	1

・チャイムが鳴るまでに授業の準備をする、人の話を注意して聞く等の学習規律は、約90％近くの生徒ができている。また、授業中に進んで学習に取り組んでいると肯定的な回答をした教職員は約86％と1学期に比べて約19％高くなったものの、保護者は約44％と約9％低く、更に家庭学習への意欲も含め非認知能力を高めていきたい。

・計画的な家庭学習には、保護者も教職員も課題意識があり、家庭と連携した取り組みや家庭学習計画表などの更なる活用や工夫をしていきたい。

・生徒が分かる授業づくりや勉強の仕方のアドバイスをしているかは、保護者の約56％、教職員の約71％が肯定的な回答をしており、さらに教材研究や分かる授業づくり等に努めていくとともに、学ぶ楽しさ（新たな事が分かった、できたなど）を実感させていきたい。

・お子さん（生徒）は、目標に向け、自分の学力を伸ばそうと自ら努力を続けていると肯定的な回答をした保護者は約44％、教職員は約43％と両者とも低くなっている。また、勉強や部活など、難しいことも最後まであきらめず取り組みようとしていると肯定的な回答をした保護者は約75％、教職員は約57％と、保護者は昨年度より約10％、教職員は約30％近く高くなっている。学校と家庭とが同じ方向を向き、正しく情報共有を行い、それぞれの目標を意欲した取り組みを進めていきたい。

Ⅲ．関わり合う力について

1	お子さんと、家庭であいさつ（おはよう、ただいま、おやすみなど）をし合っている。	94	-1
2	日南中の生徒は、校外で地域の人と出会うと自分からあいさつをしている。	56	-17
3	お子さんは、周りの人を気遣った声かけや、思いやりのある関わり（行動）がとれている。	62	-32
4	お子さんは、学校生活（学習・行事・部活動）で友達と関わり、高め合うことができている。	69	-15
5	お子さんは、家庭で自分の気持ちや思いを伝えることができる。	81	2

・家庭でのあいさつは、約94％の保護者が肯定的な回答をしており、学校でのあいさつは約86％の教職員が肯定的な回答をしているが、校外で地域の人と自分からあいさつが出来ていると肯定的な回答をした保護者は約56％と、昨年度とほとんど変わらない結果であった。地域（コミュニティ・スクール）とも連携して、あいさつの大切さを伝えていきたい。

・授業中ペアや班の話し合いで、進んで自分の考えを言っているかは、約71％の教職員が肯定的な回答をしている。また、学校生活で自分の気持ちや意見を相手に伝えることができるかは、肯定的な回答をした教職員は約71％で、安心して思いが伝え合える人間関係づくりや学級づくり等、関わり合う力の育成に今後取り組みでいきたい。

・周りの人を気遣った声かけや、人が困っていたり、悩んでいるときに進んで声かけをするなど、思いやりのある行動がとれるかは、保護者は約62％、教職員は約86％が肯定的な回答をしており、1学期に比べて保護者は約30％近く低くなり、教職員は約30％高くなっている。今後も、人権教育を基盤とした人間関係づくりの充実や人権教育参観日での発信等に取り組んでいきたい。

・学校生活で友だちと関わり合い、高め合うことができているという肯定的な回答をした保護者は約69％で、チームで進んで協力して取り組んでいるという肯定的な回答をした教職員は約72％と、両者とも1学期に比べ約15％前後低くなっている。学校行事で増った力を生活の中で生かし、自分たちで問題を解決するなど、自治力を高めていきたい。

・部活動では、部員と公平に協力して準備や片付け等を行ったり、部活の目標に向けて、アドバイスを合っている取り組みが弱いようである。今後は、ミーティングなどを大切にし、部やチームとしての目標や一人ひとりの個人目標をしっかりと立て、目標を意識した活動ができるようにしたい。

Ⅳ．ふるさとを愛する心について

1	お子さんは、地域の行事や活動に進んで参加した。（町美術館や連の駅、えんがわのイベントなども含む）	81	18
2	私は、お子さんに、ふるさと日南の良さをもっと知ってほしいと思う。	63	-17
3	私は、お子さんと、将来や夢について話をすることがあった。	75	1
4	私は、お子さんと、ふるさと日南の未来について話をすることがあった。	38	11

・地域の行事や活動に進んで参加しているかは、保護者の肯定的な回答は約81％で、昨年度よりは約10％高くなっているが、教職員の働きかけは約57％と昨年度より約10％近く低くなっている。学校としても積極的な参加を促す声かけや情報発信等を行い、ふるさとを愛する心の育成に努めていきたい。

・日南の良さをもっと知ってほしいと思うについては、保護者は約63％、教職員は100％が肯定的な回答をしており、保護者は1学期に比べて約17％低くなっている。家庭で日南の未来について話をしているという肯定的な回答をしている保護者は約38％、日南の未来について考えさせることがあったと肯定的な回答をした教職員は約43％と低く、様々な場面で日南の良さや未来について考えさせる時間（日南学など）の充実を図ってきたい。

V．学校の取組・連携について

1	学校は、教育目標や身につけて欲しい力などわかりやすく伝えている。	50	-3
2	学校は、生徒や親の願い、思いを聞こうと心がけ、丁寧に対応している。	81	13
3	学校は、学級便り、ホームページ、電話、家庭訪問などを通して学校の様子を伝えている。	88	-2
4	学校や町の便りなどを通し、コミュニティ・スクールの目的や活動は理解している。	56	-23
5	私は、学校からの便りや配布物には目を通している。	100	0
6	私は、参観日や行事などができるだけ学校へ行くようにしている。	88	-7
7	私は、子どものことで心配なことやわからないことがあれば担任等に連絡するようにしている。	94	4

・学校目標や身につけてほしい力など分かりやすく伝えているかは、肯定的な回答をした教職員は約86％であったが、保護者には約50％しか伝わっていない現状があり、日頃から生徒たちへ伝えるように心がけていきたい。

・生徒や親の願い、思いを聞こうと心がけ、丁寧に対応していると肯定的に回答した教職員は100％であったが、保護者の約81％と少し差が見られる。生徒・保護者に寄り添った対応や信頼関係づくりに努めていきたい。

・学校だより、ホームページ、電話、家庭訪問等を通して学校の様子を伝えていると肯定的に回答した教職員は100％で、保護者が約88％と多少差が見られる。今後、さらに情報発信に努めていきたい。

・学校や町の便りなどを通してコミュニティ・スクールの目的や活動を理解していると肯定的に回答した教職員は約71％、保護者は約56％で、昨年度と比べて教職員はかなり高くなっているが、保護者はかなり低くなっている。CSサポーターを活用した取り組み等を更に進め、情報発信していきたい。

・学校からの便りや配布物等を目を通したり、参観日や学校行事などで学校に来られている保護者は約90％以上おられ、多くの保護者が学校やお子さんの教育に関心を持たれている。また、お子さんのことで心配なことや分からないことがあれば担任等に連絡をされている保護者は約94％と、昨年度より高くなっているが、引き続き、保護者との信頼関係づくりに努めていきたい。

Ⅵ.その他、学校へのご意見ご要望があればお書きください。

・特にありません。10名
・いつもありがとうございます。毎日学校に、楽しく行けて感謝しています。
・生徒に寄り添った対応をしてくださっているおかげで、本人も前向きに、目標に向けて取り組んでいます。
・相談内容に対して、工夫して下さりありがたいと思う。
・教室に入れないのですが、リモート授業も音声で聞こえない時や、黒板が遠くで見えにくいなどがあり、学習意欲が更に下がっています。教育委員会、予算を取ってほしい。別室登校の子どもは必ず一定数出ると思うので、リモート授業でも勉強がしっかり出来る対応策を取ってほしい。
→現在も病気や家庭の都合等で欠席した生徒の中には、リモート授業を受けている生徒はいますので、教育委員会とも連携を図りながら、出来る限り授業の受けやすい環境を整えていきたいと思います。
・今後、部活動がどんな形で移行するのかを知りたいです。
→来年度は、現在の部活名は残したままで、陸上部とソフトテニス部を地域展開（学校と地域とが連携をして活動を行うっていく）に移行していきます。その後も、教育委員会と協議を行いながら、出来る限り全ての部活動を地域展開にしていく予定です。
・親子で参加できる行事が欲しいと思います。
→生徒、保護者、教職員の意見を聞きながら、負担のない形で実施できたらと思います。